

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡB(SeminarⅡB)		授業コード	E002512
担当教員名	岡部 勝成		科目ナンバリングコード	E21202
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	必須	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	履修上の注意または履修条件 1. 原則的には、簿記原理、会社簿記、財務諸表論などの受講者(2年次以降で取得する者も含まれます) 2. 日商簿記検定2級以上、ファイナンシャル・プランナー3級(国家資格)以上など各種資格に挑戦する意欲を持つ学生 <input type="checkbox"/>			
受講心得	岡部ゼミ生は、やむを得ない事情がある場合を除き、ゼミはもちろんのこと、他の活動にも必ず出席しなければなりません。 <input type="checkbox"/>			
教科書	伊藤邦雄『新・現代会計入門』日本経済新聞出版社、2014年。			
参考文献及び指定図書	随時指導します。			
関連科目	会計・ファイナンスに関する科目 <input type="checkbox"/>			

授業の目的	学生自身の4年間の大学生活において、「社会人としてどこでも通用する人になる」ための自己実現に向け、資格取得等による視野を拡大させることを最終到達目標としたいと考えています。
授業の概要	毎回担当者を決め、指定テキストによる範囲をレジュメの作成、ならびに日経新聞の記事を選定してプレゼンテーションをしてもらい、そのことについてディスカッションを行います(別のテーマについてもディスカッションを行います)。また、春・夏には合宿(外部より2名のゲストスピーカー招聘)、さらに一木祭には模擬店を行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：各自のテキストの担当レジュメをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定したパートに対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成ができるよう基礎学習をします。	各自のテキストの担当レジュメを配布
第2週：各自のテキストの担当レジュメをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定したパートに対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成ができるよう基礎学習をします。	各自のテキストの担当レジュメを配布
第3週：各自のテキストの担当レジュメをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定したパートに対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成ができるよう基礎学習をします。	各自のテキストの担当レジュメを配布
第4週：各自のテキストの担当レジュメをプレゼンテーション、ディスカッション 各自決定したパートに対してプレゼンテーション後、語彙や内容、形式等に関するディスカッションを実施し、精度が高く、かつ早期の卒論完成ができるよう基礎学習をします。	各自のテキストの担当レジュメを配布

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考	年間に春・夏の合宿、一木祭の出店、その他行事を行いますので、参加はやむを得ない事情以外は絶対条件です。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	会計学(財務会計)の概略が説明できる。とりわけ、テキストの担当パートに関して要旨が説明できる。
【知識・理解】	基本的な会計学(財務会計)を理解することができる。
【技能・表現・コミュニケーション】	プレゼンテーションやディスカッションをすることができる。
【思考・判断・創造】	会計学(財務会計)の論理的思考やその意味が考察できる。

○成績評価基準(合計100点)

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		10点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	10点	

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	プレゼンテーション実施のために作成するレジユメの内容により加点します。
発表・その他(無形成果)	プレゼンテーション実施のなかで、その内容や質疑応答をし、その解答に対して優れた学生には加点します。